

令和4年度 学校関係者評価実施報告書（まとめ用）

学校番号	38	学校名	駿河総合高等学校	記載者	森谷幹子
------	----	-----	----------	-----	------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見	
ア	多様な学習ニーズに対応した基礎学力の向上と主体的に学ぶ意欲態度の育成	(1)年間授業時数を28時間以上確保する。	A	B	<ul style="list-style-type: none"> ・数値目標を掲げながら、アンケートを実施しないのはなぜなのか。そもそも、数値目標を掲げることで自体に意味がなかったのなら、そのように書いてほしい。 ・欠点が増加した理由が知りたい ・1年、2年、3年と、自分の考えに基づいた科目選択ができなくなる理由は何だろうか。科目選択は途中で変更できないのか。 ・家庭での学習習慣は、昨年度は何%だったのか。それと比較したい。また、この数値は、100%を目指すものではないと思う。 ・図書購入に当たっては、探求や小論文と関連付けず、文芸など、本人のより幅広い興味に答えるものにしてもらいたい。 ・公開授業週間と授業評価アンケートについては、実施回数を知りたい。 ・家庭での学習習慣が達成されていないが他の目標は達成できている。 ・改訂された学習指導要領が全面実施された1年目であり、得られた成果と課題を整理して、継続的な取組をお願いしたい。 ・ICT活用により先生の話を中心して聴くことができ授業が充実しているとききます。 	
		(2)年間欠点数を昨年度比5%削減を目指す。				
		(3)「概ね評価規準の見通しがたった」と答える教員70%以上を目指す。				
		(4)「自分の考えに基づいた科目選択ができている」と答える生徒90%以上を目指す。				
		「私の子どもは家庭での学習習慣が身についている。」と答える保護者60%以上				C
		授業に関する図書購入希望調査、図書委員による選書会など教員・生徒の需要を把握する機会を年3回以上実施する。				B
		<ul style="list-style-type: none"> ・新教育課程・観点別評価等の研修を年2回実施する。 ・公開授業週間を年2回実施する ・授業評価アンケートを年3回実施する 				B
「本校は、適切な科目選択のために、十分な指導を行っている。」と答える生徒、保護者90%以上	B					
	「私は、ICTを活用した授業や学習指導を積極的に行っている」と答える教員85%以上。	A				
イ	品位ある生活態度の育成と安心して学べる環境づくり	年間の遅刻総数を前年比5%減。職員会議での情報提供10回	C	B	<ul style="list-style-type: none"> ・遅刻数が増えたのはなぜか。 ・朝食の摂取率についてはヤングケアラー、貧困等家庭環境の調査が必要と思われる。朝食摂取率の推移に注視することをお願いしたい。 ・前年度と比較してマイナス部分はより改善を期待したいが、全体評価としてはよく出来ていると思います。社会に出てからも品位ある生活態度として生かして欲しい。 ・髪型や服装、情報モラル等は、引き続き良好な状況である。 ・決められた校則を守らせながら校則を変更していくと、相反すると感じられることを行うが、継続して校則を見直して行ってほしい。 	
		いじめに関するアンケートを学期に1回（年3回）実施する。	B			
		「私は、髪型や服装等を高校生らしく整えている。」と答える生徒100%	B			
		「私は、情報モラルを理解したうえで、適切にケータイ、スマホ、ネット等を利用している。」と答える生徒100%	A			
		朝食摂取率が県平均（約96%）を上回る。	B			

様式第5号

ウ	計画的なキャリア支援プログラムによる個に応じた適切な進路の実現	(1)「本校は、各種の進路行事や面談等を通じて進路に関する情報を十分提供している。」と答える生徒、保護者 80%以上 (2)「本校は、生徒一人一人に対応したきめ細かな進路指導を行っている」と答える生徒、保護者 90%以上	B	A	<ul style="list-style-type: none"> ・進路に関する情報を十分に提供していることについての目標値 80%は低すぎるのではないか。 ・生徒と社会経験豊富な保護者では当然進路に関しての認識の違いがあると思いますので、社会の多様化の中どう理解し合えるか。 ・進路が決定していない生徒には声掛け、アドバイスをお願いしたい。親と話し合う時間が不足していたり、Web の情報をうのみにしてしまう子供もいる。悩みを持ってもすぐ相談できない生徒もいる。 ・キャリア・パスポート等の情報も含め、個に応じた体系的・系統的なキャリア教育の充実をお願いしたい。 ・高校生活が忙しくなっているようだ。活動が増えて、本人が生き方を模索する時間が減っている。かえって生徒の視野が狭くなっている面もあるのではないか。
		「私は、総合学科と他学科との違いについて理解している」と答える教員 80%以上	A		
		(1)「私は、自分の考えに基づいた科目選択ができている」と答える生徒、保護者が 90%以上 (2)「本校は、生徒一人一人に対応したきめ細かな進路指導を行っている」と答える生徒、保護者 90%以上	C		
エ	保健・安全指導の徹底と体力づくりの強化による心身の調和のとれた健全な生徒の育成	(1)交通事故件数年間 10 件以下 (2)イエローチケット指導数年間 200 件以下 (3)交通安全に関する確認テスト 1 年生全員合格	A	B	<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全に対して教育指導の徹底を図ってほしい。また歯の治療については早急に対処してほしい。 ・健康状態については、ぜひ、生徒さんのアンケートを取って、心身の健康状況について把握してほしい。 ・虫歯の治療が進まない背景に、金銭的な事情があるのではないか。 ・う歯については、治療勧告の紙と共に、治療をしないと将来の悪影響が大きいことを知らせるパンフレットを配るなど健康についての啓もう活動をしていただきたい。歯を失ってしまった高齢者の実体験を話してもらってもよいのではないか。 ・将来 1 人で生活する時も、健康でいられるような指導をしてほしい。
		学級閉鎖ゼロを目指す。	C		
		治療率 60%以上	C		
		新体力テスト男女優秀校（8年連続）	A		
		・「本校では、生徒が健康で安全な学校生活を送れるように、健康指導、安全指導が適切に行われている。」と答える教員 70%以上 ・各月ごとに活動計画を作成する。	B		

様式第 5 号

オ	人権を尊重し、多様性を認め合える豊かな人間性の育成	<ul style="list-style-type: none"> 学校行事、部活動、生徒会活動、授業等における南の丘分校生徒の交流年間 20 回以上、その他の学校 3 回以上 「私は南の丘分校との共生・共育の意義を理解している。」と答える生徒 90%以上 	B	A	<ul style="list-style-type: none"> 人権尊重が目的であるのであれば、授業において、SDGs などと関連付けて、人権に関する学びを促進してもらいたい 教育にあたってのコンプライアンス遵守それ自体は、人権に関する教育とはいいがたい。 人間性の育成は社会に出てからも大変重要なことで、相手の立場になって物事を考えられる人間になりたいですね。 他校との交流は人間形成にも大きな影響があるので引き続き取り組んで欲しい。 成年年齢になった時の、選挙への取組や高額バイトの危険性などについても指導してほしい。
		「私は、人権意識に配慮し、人権尊重の意識を持って教育活動を行っている。」と答える教員 80%以上	B		
カ	地域と連携する開かれた学校づくりとSDGsを意識した地域社会発展への寄与	(1) 来校者の満足度 80%以上。 (2) 学校通信 3 回以上、HP の更新回数 130 回以上 マスメディア掲載回数 20 回以上 「本校はホームページや公開授業を通じて、学校の情報を保護者や地域に積極的に公開している」と答える保護者 80%以上 (3) PTA 総会・学年別保護者会の参加率合せて 60%以上 (4) 内規集、研修資料等を PDF で配布する。	A	B	<ul style="list-style-type: none"> 各指標が、どのように SDGs を意識した地域社会の発展と関連しているのかわからない HP の更新回数は、まとめて行うかどうかだと思っているので、50 回程度でよいと思う 体験入学やオープンスクールについて述べられているが、それは指標にもととない。 研究発表や交流活動等に参加する生徒の人数が示されていない。あるいは、生徒の数は指標になじまないのか。 先進的実践の情報収集に臨む職員の数が示されていない。あるいは、職員の数は指標になじまないのか。 昨年同様、まだコロナ禍で集まるのが緩和されたとは言え、まだまだ自粛制限がある中で可能な限りでの地域社会発展に寄与されていると思います。 地域防災コミュニティプログラム(2年生)をはじめ、地域と幅広く連携する取組の継続・充実をお願いしたい。 地域防災訓練について、中学生では防災訓練の実技までやっていたので高校生にも地域の即戦力として参加をすすめてほしい。高校生は地域住民にとっては頼りになる存在で、地域の方との交流の機会にもなる。
		地域防災訓練生徒参加率 65%以上	B		
		<ul style="list-style-type: none"> 研究発表や交流活動等に参加する生徒 30 人以上 先進的実践の情報収集に臨む職員(延) 20 人以上 	A		
キ	事務運営の効率化、円滑化と教育環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> 監査での指摘 0 件 時間外勤務月平均 20 時間以下 要求調書を活用した効果的な予算執行の実現 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 目標達成のため、今後も生徒のために教育環境の充実を図って頂きたいと思います。職員の皆様大変お疲れ様です。 事務運営の効率化及び円滑化について引き続き取り組んで欲しい。 朝の検温報告を Classi にすることは良かったと思います。 メール配信回数が増加してきているので、「生徒のメール登録」の割合は 100%に近づけたい。
		iPad やノート PC の状態やネットワーク接続状況を月 1 回以上確認する	A		
		<ul style="list-style-type: none"> 生徒のメール登録 95% メール配信 50 回以上 	A		

様式第5号

ク	業務の効率化による生徒との対話時間確保とワークライフバランスの実現	定期テストや欠課時数補充などの効率的な運用を進める。 ・各種届や報告書の書式、情報の流れを整理し、作成の負荷を減らす。	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ここ数年コロナにより社会が多様化し、それに伴い教育面でも生徒との関わり方も変わったと思いますが、少しでも良い関係ができるよう頑張ってくださいと思います。 ・自宅に持ち帰る仕事も昨年より3.3%増えておりますが改善されるといいですね。 ・指導要領の改訂、一台端末への取組みなど来年度も大変なことが予想されますが、日常の中で先生方が生徒に関わる時間を十分にとることができるよう、学校運営の効率化を継続してほしい。 ・部活動顧問の先生だけで指導するのは大変だと思います。コーチと協働していくことで残業は減らないでしょうか。定期テストの日は練習時間を短くしてもいいと思います。
		職員の定時退勤の推進とめりはりの実現	B		